

公益社団法人日本演劇協会 令和5年度事業計画書

令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

1. 『演劇年鑑』刊行の為の調査・研究並びに『演劇年鑑』の刊行

文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として実施。

本年度から文化庁委託事業ではなく、独立行政法人日本芸術文化振興会から文化芸術振興費補助金の事業メニューとしての助成を受けて行う。

(1) 演劇興行の現状に関する調査

各地劇場のほか劇団及び上演団体より公演プログラム・公演チラシ等を取集し、調査並びにデータ化を行う。また全国約500の劇団及び上演団体にアンケート調査を実施し、活動の実態や団体構成等の情報提供を受け集約する。

(2) 収集データの研究

収集・集約したデータを基に、演劇興行の現状と動向、劇作家・演出家・スタッフ並びに演者等の創作・活動動向を記録として残すとともに、演劇興行の現状に関する問題点や課題を探求。次代の演劇文化の向上発展に繋げる。

(3) 『演劇年鑑2024』の刊行

上記の調査・研究を基に、『演劇年鑑2024』を編纂。令和6年3月末に刊行。刊行物は、演劇関係者・関係団体だけでなく全国主要公共図書館や芸術系大学を中心とした研究機関等に無償配布する。また一般書店でも一部販売を行うほか、著作権等に関わる写真等を除いた記載内容をすべて公式ホームページにて公開、広く一般に公表する。

また昨年度刊行『演劇年鑑 2023』に引き続き、関西圏の概況の追加、記載劇場の追加など、内容の充実を図る。

2. 演劇文化の普及に関する講座・催事等の事業

講座シリーズ『演劇お勉強会 ゲキ勉!』を、以下の通り実施。

(1) 「すみれ Forever」

- ◆2023年8月18日(金)午後6時開始(予定)
登壇者:植田紳爾、高汐巴ほか(予定)
- ◆2024年2月 or 3月 内容・登壇者未定

(2)その他講座

年度内2～4回を予定。講師・登壇者は現在交渉中。

3. 演劇功労者表彰催事『演劇人祭』事業など

本年度は実施予定なし。

4. 事業等に関する広報活動

- (1)会報の発行(年2～3回、会員並びに関係諸団体に配布)
- (2)公式ホームページ並びに公式 Twitter の更新・管理(随時)
- (3)「演劇お勉強会 ゲキ勉！」公式キャラクター(名誉講師)『ゲキ勉！くん』を用いた広報並びに普及活動

5. 演劇文化・芸術文化関係者の社会的地位の確立を図る活動

- (1)日本著作者団体協議会などが実施する著作に関する研究会へ参加。
また一般社団法人日本民間放送連盟及び日本放送協会と、演劇関係者の劇放送・脚本料等に係る契約更改の継続
- (2)文芸美術国民健康保険組合への加入を希望する会員と組合の取次事務

6. その他

- (1)社員総会・理事会等の会議・懇親会等の開催
- (2)関連団体・劇団等との連携・交流

芸術家会議、公益社団法人芸能実演家団体協議会、公益社団法人日本劇団協議会、公益社団法人日本俳優協会、公益社団法人都民劇場、一般社団法人日本演出家協会、一般社団法人日本劇作家協会、一般社団法人日本劇場技術者連盟、独立行政法人日本芸術文化振興会、松竹株式会社、東宝株式会社、阪急電鉄株式会社・宝塚歌劇団、劇団四季ほか主要劇団・製作会社、ほか

公益社団法人日本演劇協会
令和5年度収支予算書
令和5年4月1日~令和6年3月31日

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

科 目		予算額	前年度予算額	増減額
経常収益				
1) 受取入会金		30,000	30,000	0
2) 受取会費	正会員会費	1,950,000	2,070,000	△ 120,000
	賛助会員会費	3,000,000	3,000,000	0
3) 事業収益		14,350,000	13,800,000	550,000
4) 受取補助金等		0	0	0
5) 受取寄付金		0	0	0
6) 雑収益		80,010	50,100	29,910
経常収益計		19,410,010	18,950,100	459,910
経常費用				
事業費		18,230,010	17,769,800	460,210
管理費		1,180,000	1,180,300	△ 300
経常費用計		19,410,010	18,950,100	459,910
当期経常増減額		0	0	0

2. 経常外増減の部

経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	3,374,140	4,971,191	△ 1,597,051
一般正味財産期末残高	0	0	0

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

III 正味財産期末残高	3,374,140	4,971,191	△ 1,597,051
--------------	-----------	-----------	-------------

(注) 正味財産期首残高は前年度決算額の確定により

当該決算に基づく正味財産期末残高に置き換わるものとする。

公益社団法人日本演劇協会
令和5年度 収支予算書・内訳表
令和5年4月1日~令和6年3月31日

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(単位：円)

科 目		公益目的事業会計	法人会計	内部取引 控除	合計	
		公 1				
経常収益						
1) 受取入会金		0	30,000	0	30,000	
2) 受取会費	正会員会費	1,170,000	780,000	0	1,950,000	
	賛助会員会費	3,000,000	0	0	3,000,000	
3) 事業収益	受講料・入場料等収入	3,150,000	350,000	0	3,500,000	
	調査・研究出版物収入	250,000	0	0	250,000	
	協賛広告収入	1,100,000	0	0	1,100,000	
	助成金（文化庁）	9,500,000	0	0	9,500,000	
4) 受取補助金等		0	0	0	0	
5) 受取寄付金		0	0	0	0	
6) 雑収益	作品管理協力金（中野實）	0	80,000	0	80,000	
	受取利息	0	10	0	10	
経常収益計		18,170,000	1,240,010	0	19,410,010	
経常費用						
事業費	役員報酬	0	0	0	0	
	給与手当	2,700,000	0	0	2,700,000	
	臨時給与	270,000	0	0	270,000	
	退職給付費用	0	0	0	0	
	法定福利	720,000	0	0	720,000	
	福利厚生費	3,000	0	0	3,000	
	会議費	45,000	0	0	45,000	
	交際費	45,000	0	0	45,000	
	旅費交通費	405,000	0	0	405,000	
	地代家賃	2,160,000	0	0	2,160,000	
	リース料	225,000	0	0	225,000	
	賃借料	2,500,000	0	0	2,500,000	
	水道光熱費	225,000	0	0	225,000	
	新聞図書費	27,000	0	0	27,000	
	通信費	480,000	0	0	480,000	
	印刷製本費	2,250,000	0	0	2,250,000	
	消耗品費	36,000	0	0	36,000	
	事務用品費	120,000	0	0	120,000	
		諸謝金	5,600,000	0	0	5,600,000

	支払保険料	9,000	0	0	9,000
	支払手数料	180,000	0	0	180,000
	租税公課	180,000	0	0	180,000
	雑費	50,010	0	0	50,010
管理費	役員報酬	0	0	0	0
	給与手当	0	300,000	0	300,000
	臨時給与	0	30,000	0	30,000
	退職給付費用	0	0	0	0
	法定福利	0	80,000	0	80,000
	福利厚生費	0	27,000	0	27,000
	会議費	0	5,000	0	5,000
	諸会費	0	30,000	0	30,000
	交際費	0	5,000	0	5,000
	旅費交通費	0	45,000	0	45,000
	地代家賃	0	240,000	0	240,000
	リース料	0	25,000	0	25,000
	水道光熱費	0	25,000	0	25,000
	新聞図書費	0	3,000	0	3,000
	通信費	0	50,000	0	50,000
	印刷製本費	0	250,000	0	250,000
	消耗品費	0	4,000	0	4,000
	事務用品費	0	20,000	0	20,000
	支払保険料	0	1,000	0	1,000
	支払手数料	0	20,000	0	20,000
	租税公課	0	20,000	0	20,000
	雑費	0	0	0	0
	経常費用計	18,230,010	1,180,000	0	19,410,010
	当期経常増減額	△ 60,010	60,010	0	0

2. 経常外増減の部

	経常外収益計	0	0	0	0
	経常外費用計	0	0	0	0
	当期経常外増減計	0	0	0	0
	他会計振替	0	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△ 60,010	60,010	0	0

公益社団法人日本演劇協会
令和5年度事業計画書 添付書類

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定…なし

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除去又は売却を含む)の予定…なし